

三陸沿岸道路（宮古田老道路）

田老第3トンネル・田老第4トンネルの完成式を
開催します

～田老児童館の皆さんとお祝いします～

震災復興のリーディングプロジェクトとして事業を進めている三陸沿岸道路「宮古田老道路」（宮古市松山^{まつやま}～宮古市田老字小堀内^{たろうこぼりない} 延長約21km）は、震災後事業化（平成23年11月）された復興道路です。

このたび、田老第3トンネル（延長553m）・田老第4トンネル（延長360m）の工事が完了したことから、完成式を行う運びとなりましたのでお知らせします。

完成式は、地元代表者の方々及び田老児童館の児童の皆さんにも参加頂いて完成をお祝いします。

1. 日 時：平成29年2月7日（火）10：00～11：30
2. 開催場所：田老第3トンネル（宮古市田老字ケラス地内^{みやこしたろう}）別紙1参照
3. 主催者：五洋建設株式会社
4. 完成式の概要（別紙2参照）
 - ・田老児童館の児童18名が参加し、たろう太鼓演奏、くす玉開き及び、子供みこしにより完成をお祝いしていただきます。
5. その他：9：30から受付を開始いたします。

※トンネルの名称は仮称です。

《発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ》

問い合わせ先

【完成式に関するお問い合わせ】

国道45号 田老地区トンネル工事 五洋建設株式会社 電話 0193-77-4317

宮古市崎鍬ヶ崎第11地割5-1

現場代理人 高橋^{たかはし} 哲哉^{てつや}

【事業に関するお問い合わせ】

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 電話 0193-62-1711(代表)

副 所 長 平岡^{ひらおか} 弘志^{ひろし}

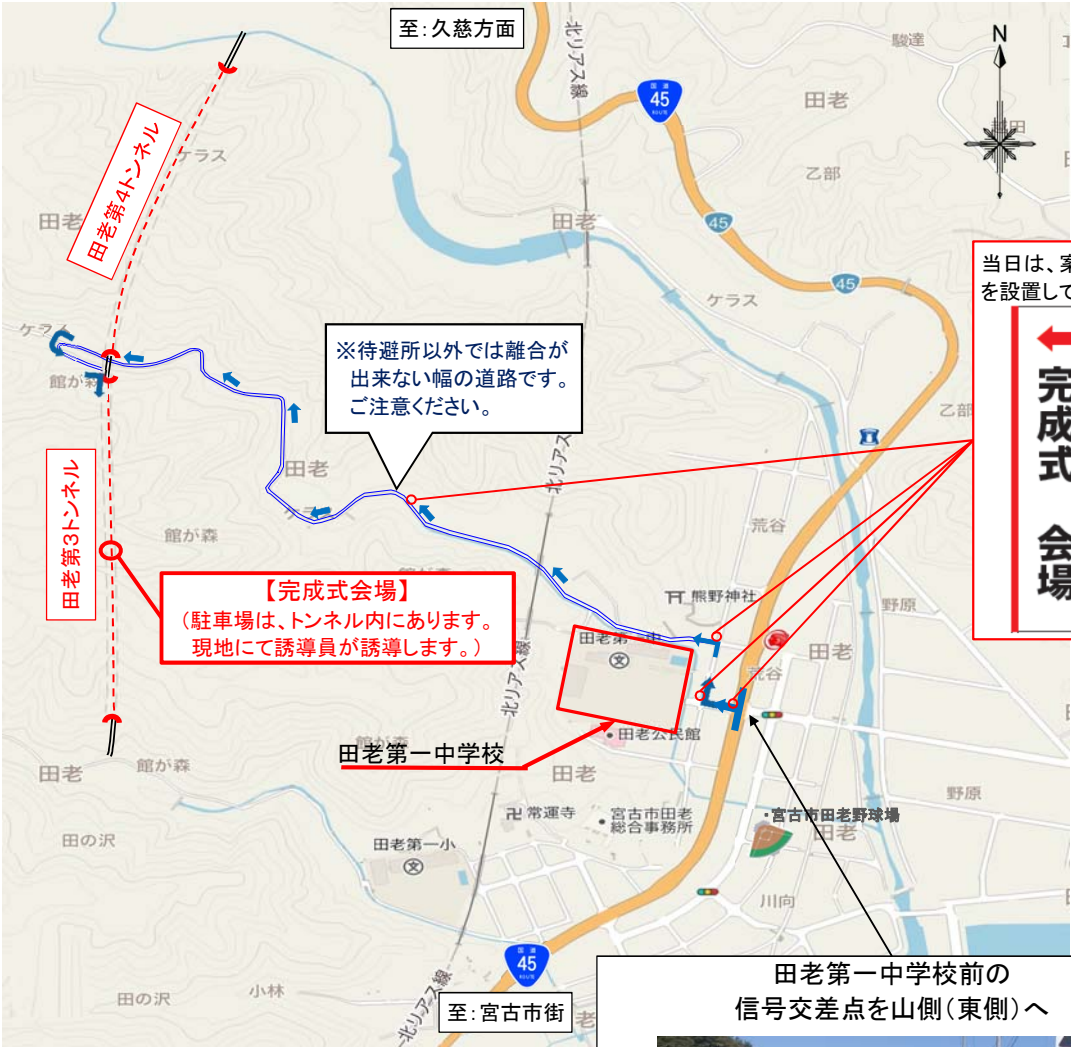
建設監督官 今田^{いまだ} 修^{おさむ}

三陸国道事務所のホームページならびに復興道路、三陸沿岸道路については



で検索できます

三陸沿岸道路 宮古田老道路 田老地区トンネル工事 完成式会場案内図



三陸沿岸道路 宮古田老道路 田老地区トンネル工事

完 成 式 次 第

平成29年2月7日（火） 開式10時 閉式11時30分

- 一. 開式の辞
- 一. 工事説明
- 一. 発注者挨拶
- 一. ご来賓祝辞
- 一. たろう太鼓演奏（田老児童館児童）
- 一. くす玉開披（田老児童館児童 他）
- 一. お祝い御輿（田老児童館児童、施工者）
- 一. 鏡開き
- 一. 乾 杯
- （ 歓 談 ）
- 一. 施工者謝辞
- 一. 万歳三唱
- 一. 記念撮影
- 一. 閉式の辞

宮古田老道路（宮古中央～田老）の概要

路線概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路(宮古中央～田老)」は、宮古市松山から宮古市田老を結ぶ約21kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

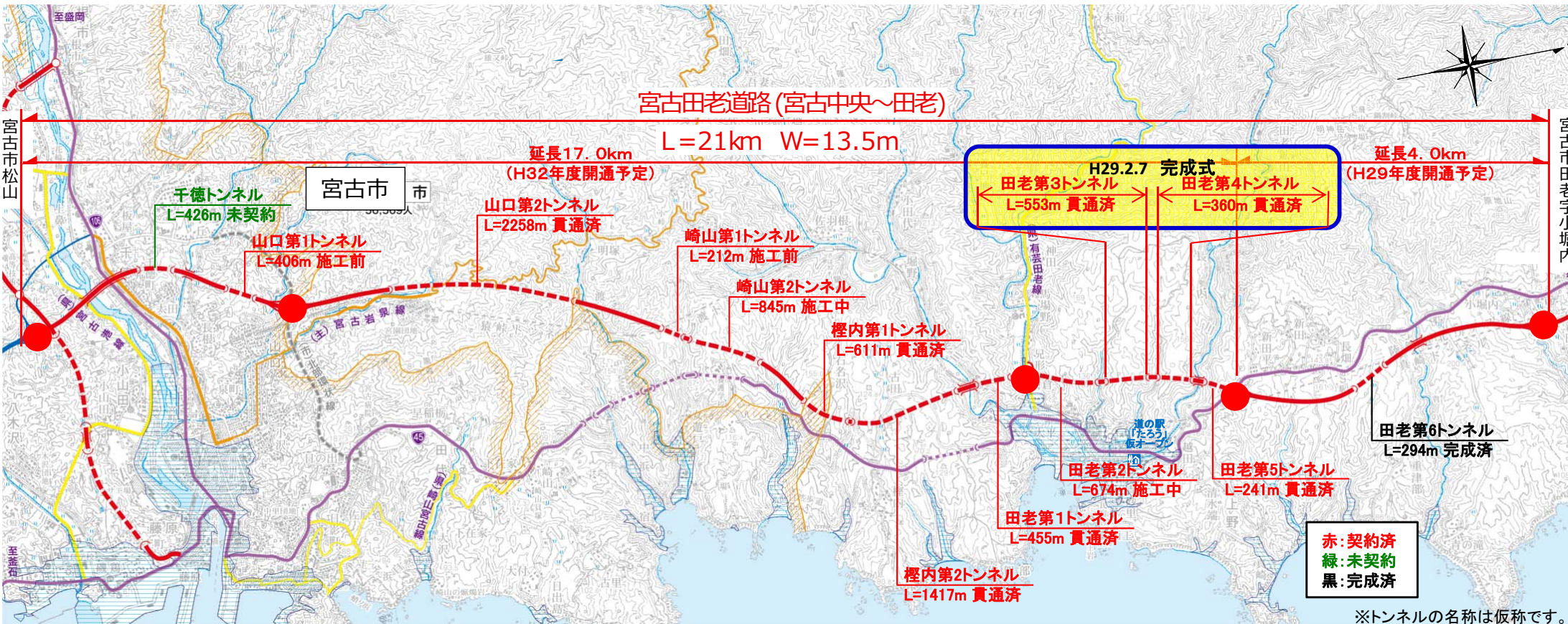
平成28年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施しています。

計画諸元

宮古田老道路 (宮古中央～田老)	
起 点	宮古市松山
終 点	宮古市田老字小堀内
延 長	21km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



宮古中央IC付近(北側を望む)



新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 宮古盛岡横断道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
(八幡平市入込客数
: 216万人/年)



遠野盆地
(遠野市入込客数
: 170万人/年)



展勝地
(北上市入込客数
: 127万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数193万人/年)

中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



船越半島大釜崎(山田町)



碁石海岸(大船渡市)



三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



北山崎(田野畑村)



龍泉洞(岩泉町)



迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 宮古田老道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況

宮古田老道路 L = 21 km



- : 急カーブ箇所 (平面曲線半径150m未満箇所)
- △ : 急勾配箇所 (縦断勾配5%以上区間)

宮古～田老区間の国道45号

急カーブ箇所
(R < 150m)
24箇所



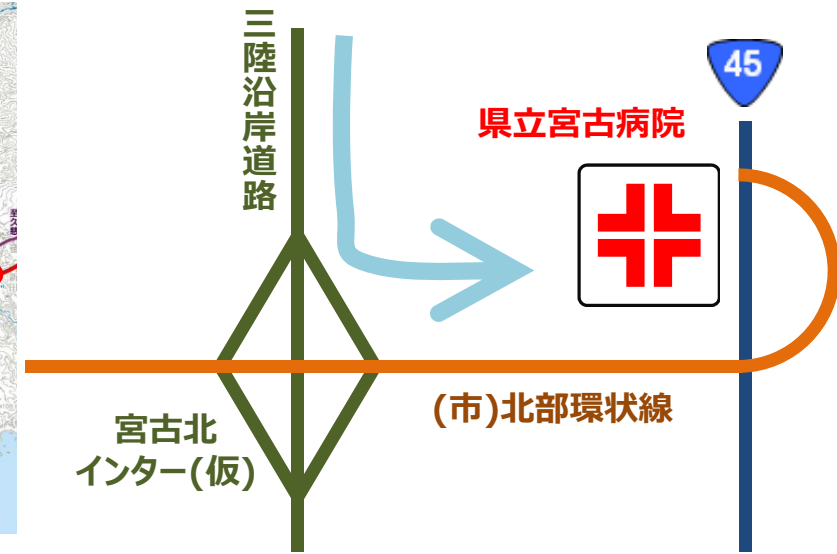
急勾配箇所
(i > 5%)
28箇所



宮古田老道路

急カーブ箇所 (R < 150m)
急勾配箇所 (i > 5%)
0箇所

▼宮古病院へのアクセスルート



岩泉町から県立宮古病院への搬送時間

現在 約50分 ⇒ 将来 約35分

津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止が発生
- 宮古田老道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼ 宮古市～岩泉町間経路



▼ 津波により寸断された国道

写真① 宮古市田老地区



写真② 宮古市磯鶏地区



フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

- 宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設(岩手県初の運航)。
- 三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。
- 北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼航路概要

(川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

- 開設時期 平成30年6月(予定)
- 運行計画 1日1往復、毎日運行
- 選定理由
 - ①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
 - ②トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
 - ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
 - ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。

▼観光入込客数の推移と期待

(※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)

